



# 小国人



令和7年8月29日（金）発行

第15号

文責：校長 横澤 聡一

## SNS 使用の実態から

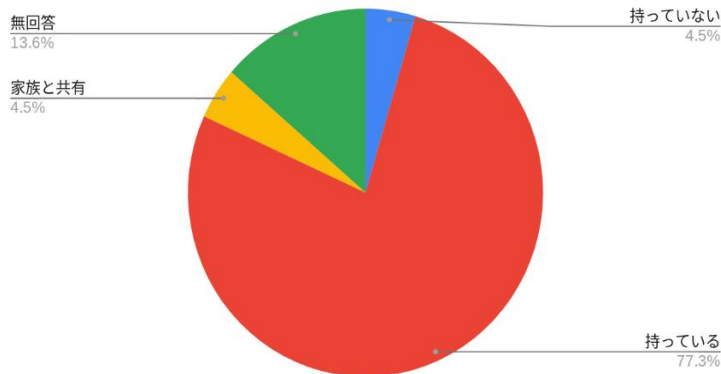
SNSとは、ソーシャル・ネットワーク・サービスの略で、インターネットを通じて、人と人とのつながりを築き、コミュニケーションを促進するためのウェブサービスやアプリのこと。

1学期に、全校生を対象に SNS の使用についてのアンケートを実施しました。携帯端末の所持率、使用している SNS の種類、使用時間、目的、どのような人と交流したことがあるか等の質問をしたところ、以下のような結果になりました。多くの生徒の皆さんが SNS を使用していることがわかります。面識のない人と交流している生徒が20%以上もいることにも非常に驚きました。

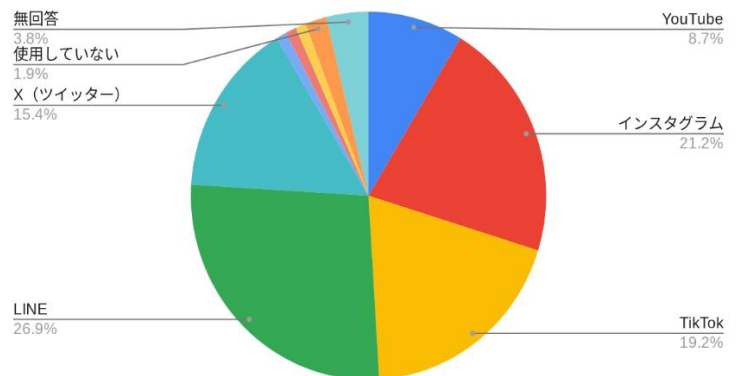
最近では、Facebook、LINE、Instagram など、SNS の話題を耳にしない日はありません。自らの表現の場であったり、交友関係を広めていく場であったりと多くのメリットをもっていますが、デメリットが存在することも事実です。最近では、SNS 上での特定の個人に対する誹謗中傷などが社会問題になっています。

これからの時代は、「賢く安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使うことのできる心」をお子さんに育てることが大切ではないかと思います。学校でもこれまで同様、SNS の使い方については、様々な場面で指導していきますが、各ご家庭でも、お子さんの SNS の使用について確認と見届けをお願いいたします。

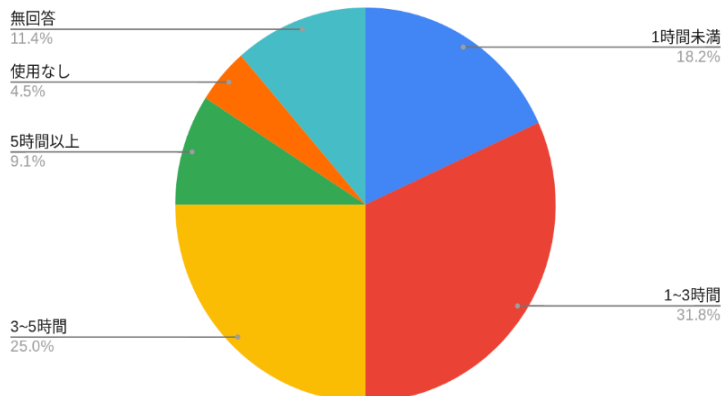
Q1.あなたは自宅で携帯端末（スマホ、携帯電話、ネットに接続できるゲーム機等）を持っていますか？



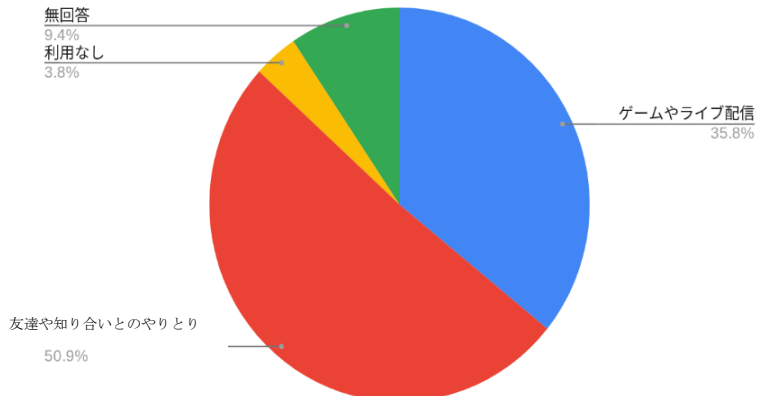
Q2.あなたが普段利用しているSNSを選んでください（複数回答可）。



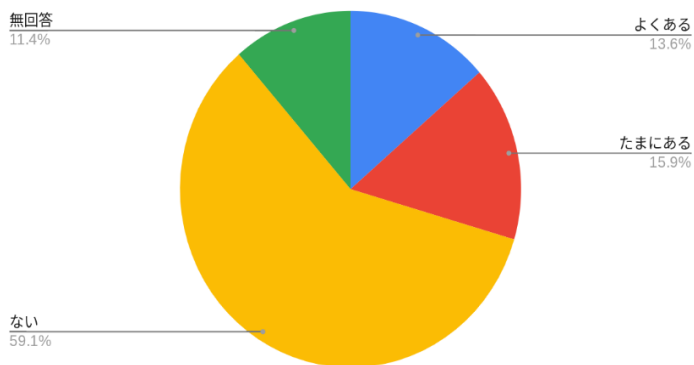
Q3.1日にどれくらいSNSを利用しますか。



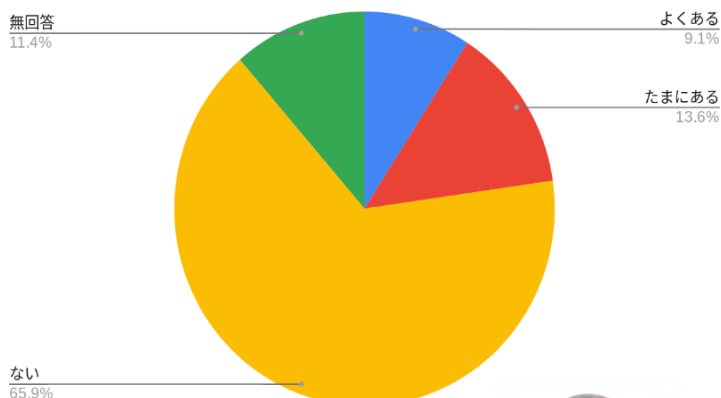
Q4.SNSを主に利用する目的はなんですか。



Q5.これまでに他校の生徒とSNSを通じて交流したことはありますか。



Q6.これまでに、面識のない人と交流したことはありますか。



## SOS の出し方講座

～ここに負担を感じた時にするといいこと～



25日(月)に県立保健医療大学の安保寛明教授においでいただき、心に負担を感じた際に助けを求めることの大切さやネガティブな感情との向き合い方などについてご講話いただきました。

心を紙風船に例えて、人間関係や忙しさなどの負荷がかかるとしぼんでしまう。もし、空気がほとんどない紙風船のように心がしぼんでしまったら、一人で解決しようとせず、誰かの助けを借りてほしい、ということをお話いただきました。

また、ロシアの昔話である「大きなかぶ」を例に、「理解者を増やすことは大きな力になること」、「心が疲れていると感じたときは、信頼できる人に打ち明けること」、「自分をいたわる方法に時間を割くこと」、「心配な人がいる場合は前向きな言葉をかけてみること」などもお話をいただきました。



## 環境パートナーの

皆さんありがとうございました！！

8月21日(木)に、環境パートナーの方々に来校いただき、正門から昇降口までの除草をしていただきました。9人の環境パートナーの方のおかげで、とてもきれいになりました。とてもきれいな環境の中で、子供たちが学校生活を送れることは本当にありがたいことです。猛暑の中、ご協力いただいた環境パートナーの方々、本当にありがとうございました。



【ご協力いただいた方々】

新野 節子さん、西原 初子さん、舟山恵美子さん、本間富美子さん  
 舟山 頼子さん、佐藤とよ子さん、今 みさをさん、大津 修子さん  
 志田やよ江さん 【小国中職員】 船山まさ子、伊藤 玲子